

令和6年度柏市学校給食運営協議会
会議報告

開催日時	令和6年11月26日（火）15:00～16:20
開催場所	沼南庁舎 5階 501会議室
出席者	別添のとおり
議題	<p>(1) 学校給食費の現状について</p> <p>(2) 学校給食費の公会計化について</p> <p>(3) 学校給食用食器について</p> <p>(4) その他</p>
<p>概要説明</p> <p>各議題に対する意見の要旨</p>	<p>柏市学校給食運営協議会の設置目的として、以下の内容を説明。</p> <p>これまで、学校給食に係る重要事項は、必要に応じて検討会を設置し、その都度学校関係者から意見を聴取してきたが、昨年の「柏市学校給食検討会」の意見を踏まえ、定期的に課題を共有し、意見交換を行う場として「柏市学校給食運営協議会」を設置することとした。本協議会での意見は、今後の学校給食の運営の参考としたい。</p> <p>(1) 学校給食費の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費の現状として、令和6年度の給食費改定の効果や物価高騰の影響などを説明した。 ・また、学校給食用牛乳価格の上昇が主菜や副菜等に及ぼす影響を踏まえ、令和7年度から牛乳代を除く給食費を固定し、牛乳代は実費を徴収することを説明した。 <p>(2) 学校給食費の公会計化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費公会計化の概要や学校と教育委員会の役割、学校関係者・保護者へお願いすることなどを説明した。 <p>(3) 学校給食用食器について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市で採用している学校給食用食器の1つが製造中止になるため、材質の違いによるメリットやデメリット、学校へのアンケート調査の結果を踏まえた今後の食器選定の考え方を説明した。。

	<p><主な意見等></p> <p>(1) 学校給食費の現状について</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 給食費改定の効果として、小規模校では注文できる食材の幅が広がった。一方で、2学期から米の価格が高騰しており、1学期よりも食材費を節約する必要があると感じている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の食材費のやりくり状況から、改定後の金額は適当だと感じていた。しかし、さらに食材価格が上昇し、2学期からは食材費が高くなったと感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 物価高騰が続いた場合は、給食費（食材費）が不足しないよう、学校給食に対する補助などを検討してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 牛乳納入業者の選定及び牛乳の価格について、千葉県学校給食会の指定業者だけが納品していると、競争の原理が働かず、価格が安くないのではないかと。
事務局	<p>→学校給食用牛乳供給対策要綱（昭和39年8月31日文体給第265号文部事務次官）により、学校給食用牛乳の供給価格及び供給事業者の決定は、千葉県知事が指定した団体に行わせることができる。千葉県では学校給食会がこれに該当し、納入業者と価格を決定している。200mlの牛乳価格として65円は高くないと感じている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 近年の牛乳1本の値上げ額はどれくらいか。
事務局	<p>→5年間の平均では、年2円程度の値上げだと思う。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 先日、大津ヶ丘中学校で給食を食べたが、昔よりもおいしかった。改めて限られた給食費の中で献立を作成している栄養士の工夫に感謝している。子供たちもおいしいと言いながら食べていた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 急激な物価高騰に対応するためには、給食費への補助があってもいいのではないかと。
事務局	<p>→令和5年度は物価高騰の状況を見極め、前期と後期に分けて補助を実施した。今年度は給食費改定に伴う増額分の全額を補助し、物価高騰への対応とともに保護者負担の軽減に努めた。今後の補助については、景気の動向や国からの交付金の見通しを踏まえて検討する。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今年度実施した値上げ分の補助について、令和7年度はどれくらいの補助を想定しているか。
事務局	<p>→景気の動向や物価高騰、国からの交付金の見通しなどを踏まえて検討する。</p> <p>令和6年度と同様の補助ができるかは未定であるが、一定程度の保護者負担は必要だと考えている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担の視点からも、給食費は材料費だけであり、保護者が払うべきもの

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、未納者対応の負担が大きい。取り立ては毎月行い、自宅訪問することもあった。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公会計化することで、教育委員会への提出物は増えるのか。 →可能な限り学校現場の負担が増えない事務処理方法などを検討している。
委員	<p>(3) 学校給食用食器について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用食器の方向性として、PEN食器に移行することは良い。一方で、保健所の検査で食器のでんぷんが落ちていないとの指摘を受けたことがあるため、定期的に食器を更新してほしい。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・箸も20年以上使っているものがある。定期的に更新してほしい。 ・クリストバライトからPEN食器に移行した場合、食器購入費用は抑えられるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> →多少は抑えられる。 時期食器の破損率（補充額）を参考にして、同等額の範囲でPEN食器の更新費用に充てるという考えもある。 <p style="text-align: right;">以上</p>